



都内企業の景況感

—第116回企業動向調査結果 平成25年10月実施—



◎ 都内中小企業の景況は回復の動き。先行きもさらに改善が続く見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の-4.5から今回7.4へと11.9ポイント上昇し、回復しつつある。先行きについても、同DI*は22.6と大幅に上昇し、さらに改善の見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	-4.5	⇒	7.4 (前回予想 5.2)	⇒	22.6
2. 売上高DI*は、前回の-8.5から今回8.5へと17.0ポイント上昇、経常利益DI*は、-11.4から0.3へ11.7ポイント上昇した。先行きについても、両DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	-8.5	⇒	8.5 (前回予想 5.5)	⇒	20.7
	経常利益 DI*	-11.4	⇒	0.3 (前回予想-0.4)	⇒	8.7
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回3.2と4.9ポイント、仕入れ価格DIは27.8と1.6ポイント上昇した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	販売価格 DI	-1.7	⇒	3.2	⇒	5.0
	仕入れ価格 DI	26.2	⇒	27.8	⇒	33.5
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の2.7から今回6.0へと3.3ポイント上昇し、運転資金需要DI*は前回の8.1から今回15.4へと7.3ポイント上昇した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-9.9	⇒	-7.9	⇒	...
	設備資金需要 DI*	2.7	⇒	6.0	⇒	11.9
	運転資金需要 DI*	8.1	⇒	15.4	⇒	15.7
5. 金融機関借入難易感DIは、今回19.9で前回とほぼ横ばい、資金繰りDIは、今回8.1と5.1ポイント改善した。	金融機関借入 難易感 DI	20.7	⇒	19.9	⇒	...
	資金繰り DI	3.0	⇒	8.1	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア16.3%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回4位の「人材難」が15.3%にシェアを高めた。第3位は、前回2位の「売上不振」で、14.0%であった。第4位は、前回3位の「原材料高・仕入価格高」で、11.4%だった。第5位は、前回と同じく「取引先からの値引き要請」で8.0%だった。第6位は、「労働力不足・求人難」7.2%、第7位は、「人件費等経費の増加」4.9%、第8位は、「合理化不足」4.6%であった。	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	15.4	⇒	16.3		
	人材難	11.9	⇒	15.3		
	売上不振	15.2	⇒	14.0		
	原材料高・仕入価格高	13.2	⇒	11.4		
	取引先からの値引き要請	9.2	⇒	8.0		
	労働力不足・求人難	6.6	⇒	7.2		
	人件費等経費の増加	4.6	⇒	4.9		
	合理化不足	3.9	⇒	4.6		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。  
 2. 天気図は自社業況判断\*、売上げ\*、経常利益\*、設備資金需要\*の4指標の平均値(前回-5.4、今回5.6、先行き16.0)で判断したもの。前回は「うす曇り」、今回は「晴れ時々曇り」、先行きは「晴れ」。  
 3. 季節調整済みの指標には、\*マークを添付。原数値の指標はマークなし。  
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。